



ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和7年12月2日
稚内開発建設部

第36回 稚内開発建設部総合評価審査委員会の 審議概要について

令和7年10月28日に開催した、第36回 稚内開発建設部総合評価審査委員会の議事概要を別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部

技術管理課 課長 渡辺 秀博 電話 0162-33-1031

技術管理課 課長補佐 荒井 一憲 電話 0162-33-1086

稚内開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>

稚内開発建設部公式X（旧Twitter）アカウント https://x.com/mlit_hkd_wk

稚内開発建設部



別紙

第36回 稚内開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所		令和7年10月28日（火）稚内地方合同庁舎（Web併用）		
委員長		井上 京	（北海道立総合研究機構理事）	Web 参加
委 員		宮武 誠	（函館工業高等専門学校教授）	Web 参加
委 員		高橋 翔	（北海道大学大学院准教授）	Web 参加
審議案件				
① 道路	稚内道路事務所管内 道路区画線設置工事 【一括審査1】			
	浜頓別道路事務所管内 道路区画線設置工事 【一括審査2】			
② 農業	幌延地区 幌延西部工区農地保全工事			
③ 港湾	稚内港外1港北護岸防波改良その他工事			
④ 港湾	枝幸港防波堤（波除）外基本設計その他業務			
委員からの意見・質問、それに対する回答				
意見・質問	回 答			
① 稚内道路事務所管内 道路区画線設置工事 【一括審査1】 浜頓別道路事務所管内 道路区画線設置工事 【一括審査2】	<p>・ 豊富バイパス等は道路管理者が行う通行止めに合わせて区画線施工も行っており、契約上の制約事項とはなっていない。</p> <p>・ 入札説明書において、予め落札者の決定方法（順序）を定めている。</p> <p>・ 総合評価落札方式における企業の技術力審査・評価を効率化している。</p> <p>・ 一括審査対象工事において配置予定技術者の申請は1名のみとしており、1本受注した段階で2本目は辞退となる。</p> <p>・ 区画線の耐用年数は交通量の影響等により異なる。</p> <p>・ 国土交通省の直轄工事における総合評価落札方式の運用ガイドラインによる標準の配点となる。</p>			
・ 制約事項の工事条件により、豊富バイパス等は4月25日までに中央線を完了させなくて良いのか。				
・ 2工事のうち、浜頓別道路事務所管内区画線設置工事を先に決定することはないのか。				
・ 一括審査方式を採用した理由は如何。				
・ 双方の工事を受注することが出来ない理由は如何。				
・ 区画線の耐用年数如何。				
・ 配点表の施工体制評価について、30点の割合は高くはないか。				

意見・質問	回 答
<p>② 幌延地区 幌延西部工区農地保全工事</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業説明資料の排水路で、台形断面を採用している理由は如何。 	<ul style="list-style-type: none"> 国営総合農地防災事業で行っている排水路改修工事は原則、原形復旧であるため、現況と同じ台形断面を採用している。
<p>③ 稚内港外1港北護岸防波改良その他工事</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業船を使用する工事箇所はどこか。 それは作業船がないと施工出来ない工事なのか。 平成22年7月以降に自ら新造し、かつ作業船の財産を保有していれば配点を高く設定しているが、新造船で無くてもよいのではないか。 本工事は道路や農業と比べ参加が2者と少ないが、理由は如何。 工事要件から地元企業は何社を想定されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 宗谷港の船揚場の工事である。 基礎捨石を海中に投入するために使用している。 新造船を使用することで環境への配慮のほか、災害時などでも作業船の迅速な投入ができるなど、新造船普及のためにこのような配点となっている。 港の工事という特殊性がある。 想像でしかないが、稚内港と宗谷港を合わせて発注していることもあるかもしれないが、工事を分けて発注すると工事規模が小さくなり受注業者にとってはメリットが少なくなってしまい不落になる可能性もある。 6社である。

意見・質問	回 答
<p>④ 枝幸港防波堤（波除）外基本設計その他業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港内の静穏度を検討している理由は如何。 ・特定テーマに対する技術提案の中での的確性と実現性について評価していると思うが、ここで求める効果は、的確性で評価した点数を実現性で増やす事が目的か。例えば実現性が低い評価なのに総合点数が高ければ特定される理由は如何。 ・枝幸港の港湾管理者は誰か。 ・業務内容の中で、漁業者から意見を聴取したり、港湾管理者と協議することになっているが、受注コンサルタントが直接、漁業者や港湾管理者とヒアリングを実施して設計に反映する事を特定テーマに出来ないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元々がー5. 5m岸壁で大型船が使う岸壁だったが、ー2m物揚場では小さな船が利用するようになるので、今より一層の静穏度が求められる。 ・まずは本業としてどこが問題なのか把握出来ることが重要であるため、的確性で確認している。その上で実現可能な高い提案であるかを二段階で評価している。 仮に実現性が低い評価であっても、実現性以外で高く評価しているのであれば特定出来ると判断する。 ・枝幸町である。 ・発注者側と一緒にやって漁業者や港湾管理者とヒアリングを実施するので説明補助と取りまとめが主な業務内容であるため、特定テーマとして提案して貰う内容ではない。
<p>今回審議した工事・業務については適切に評価されているものと認める。</p>	<p>以上</p>